

定期報告(ウルグアイ政務・経済:2022年6月)

【ポイント】

内政

- 9日、当国厚生省は新型コロナウイルス、インフルエンザ及びその他の感染症患者が増加したことに伴い、マスクの着用規定の強化を発表。
- 29日、アルベレチェ経済財務大臣は2023年度補正予算案を議会に提出。

外交

- 1日、米国は、ウルグアイ海軍にボート及び小型船舶の修理用品を供与。
- 7日、パガニーニ工業エネルギー鉱業大臣は Netflix 社及び Amazon 社の代表と会談。
- 8日、ラカジェ・ポウ大統領は、リマ Microsoft 社ラテンアメリカ担当代表とビデオ会議を実施、Microsoft 社はウルグアイに AI 及び IoT の研究所を設立する旨発表(ラ米初)。
- 9日、ブスティーゴ外相及びフランサ伯外相は米国ロサンゼルスで外相会談を行い、共同声明を発表。
- ラカジェ・ポウ大統領は、ビデオ演説を通じて第9回米州首脳会議に参加。
- 16日、ブスティーゴ外相はアルゼンチンを訪問、カフィエロ亜外相との外相会談を実施。

経済

- IMF ミッションがウルグアイを訪問。ウルグアイ政府関係者との協議を行い、経済評価を報告。
- 20日、ウルグアイとブラジルは自由貿易地区で生産された製品のゼロ関税輸出に関する協定に署名。また、マテ茶の輸入簡易化に関する文書にも署名。
- 29日、フィッチ・レーティングス社は、ウルグアイの債務格付を投資適格の下限である「BBB-」、今後の見通しを「安定」と発表。

1 内政

(1) 英国 Challenger Energy 社へのエネルギー原料(炭化水素)賦存調査ライセンス付与

当国政府は、当国の海洋プラットフォームで炭化水素調査を行うライセンスを英国の石油会社 Challenger Energy 社に付与した。スティパニシック国営燃料公社(ANCAP)総裁によれば、ウルグアイが行っているのはプラットフォームの状況や炭化水素の保有可能性に関する調査であり、探索可能になるには何年も要するという。

(2) マスク着用規定の変更

ウルグアイ政府は4月の国家衛生緊急事態宣言の解除後、呼吸器系の症状を有し、症状が続く状態で他人との接触がある場合のみマスクの着用を義務としていたが、9日、当国厚生省は新型コロナウイルス、インフルエンザ及びその他の感染症患者が増加したことに伴い、マスクの着用規定に関する変更を発表。

(3) 政府要人に対する支持率世論調査

世論調査会社 la Usina de Percepcion Ciudadana 社の調査結果によると、政府要人で最も評価が高かったのは支持率53%のサリーナス厚生大臣であり、50%を超えたのは同大臣だけであった。その他、デルガド大統領府長官が41%、アルベレチェ経済財務大臣が38%と続き、ブスティージョ外相は22%であった。なお最も否定的な評価が多かったのはヘベル内務大臣で51%であった。

(4) 2023年度会計報告・補正予算案の提出

27日、ラカジェ・ポウ政権の各省大臣が集まり、2023年度会計報告・補正予算案(Rendicion de Cuentas)の予算分析及び予算決定に関する協議を行った。その後、29日、アルベレチェ経済財務大臣は2023年度補正予算案を議会に提出。7月6日には下院予算委員会と経済財務省の会議が行われ、翌7日から45日間の審議プロセスが開始される。

2 外交

(1) 米国からの艦艇修理用品の供与

1日、艦隊司令官マリオ・ビスカイ海軍少将、米国大使館関係者及び海兵隊司令部の出席の下、ウルグアイ海軍司令部艦載ボート部門の施設において、米国大使館の防衛協力室(Oficina de Cooperacion Defensa: ODC)は、ウルグアイ海軍のボート及び小型船舶の修理用品の供与を行った。本供与品は、(米国政府出資の安全保障支援プログラムである)グローバル・ピース・オペレーション・イニシアティブ(GPOI)資金を通じた防衛協力室による支援である。

(2) パガニーニ工業エネルギー鉱業大臣の情報通信関連企業訪問

7日、パガニーニ工業エネルギー鉱業大臣は米国ロサンゼルスにおいて Netflix 社及び Amazon 社の代表と会談を行い、両企業のウルグアイにおける事業拡大について話し合った。

(3) ニック・クレッグ Meta 社国際関係担当責任者とのビデオ会談

8日、ラカジェ・ポウ大統領、パガニーニ工業エネルギー鉱業大臣及びドゥラン駐米ウルグアイ大使は、ニック・クレッグ Meta 社国際関係担当責任者(元英国副首相)とのビデオ会談を行い、ラテンアメリカ社会経済発展の原動力としてのイノベーションの役割に関して協議を行った。

(4) Microsoft 社の AI・IoT 研究所設置

ラカジェ・ポウ大統領、パガニーニ工業エネルギー鉱業大臣及びドゥラン駐米ウルグアイ大使は、リマ Microsoft 社ラテンアメリカ担当代表とのビデオ会議を行った。Microsoft 社はモンテビデオに AI 及び IoT の研究所を設立する旨発表、同研究所はラテンアメリカでは初、米国外では上海、ミュンヘンに次ぐ3番目の研究所となる。

(5) 伯ウルグアイ外相会談

9日、ブスティージョ外相及びフランサ伯外相は OAS 首脳会議が開催された米国ロサンゼルスで外相会談を行い、共同声明を発表。関税の引下げはメルコスール加盟国経済の競争力及び生産性を高めることに寄与するとの意見で一致し、ウルグアイは、メルコスール対外共通関税の一律引下げ案(la propuesta de reduccion horizontal del Arancel Externo Comun)への支持を表明し

た。また、両国は、経済的補完性を確立する協定への署名も行い、ウルグアイ及びブラジルに位置するフリーゾーン及び特別関税地区で生産された産品の特恵アクセスに関する条件について合意した。これにより、ウルグアイのフリーゾーンで生産された産品が無関税でブラジル市場に輸出される。さらに両国は、より柔軟性のあるメルコスールの近代化の必要性について合意した。

(6) ラカジェ・ポウ大統領ビデオ演説

新型コロナウイルス感染のため 6月8日から10日にかけて開催された第9回米州首脳会議出席を取りやめたラカジェ・ポウ大統領は、バーチャルで同会議に参加。同大統領は、ビデオ演説を通じて、すべての国が発展できる可能性を踏まえた経済安全保障が国民の繁栄をもたらすと主張し、すべての国が繁栄するには保護貿易の少ない開かれた世界と補完的な世界が必要であると述べた。

(7) サンダー・ピチャイ Google 社 CEO とのビデオ会談

ラカジェ・ポウ大統領、パガニーニ工業エネルギー鉱業大臣及びドゥラン駐米ウルグアイ大使は、サンダー・ピチャイ Google 社 CEO とビデオ会談を行った。ラカジェ・ポウ大統領及びサンダー・ピチャイ Google 社 CEO は、ウルグアイ国内にデータセンターを設立するプロジェクトの可能性について協議。また、同 CEO は、Google 社が数ヶ月後に発表予定であるウルグアイの起業家を養成するスタートアップアカデミーの立ち上げ等のイニシアティブについてラカジェ・ポウ大統領に共有した。

(8) 米国制裁対象ベネズエラ航空機のウルグアイ領空通過許可の取り消し

12日、ガルシア国防大臣は、6月8日にアルゼンチンで抑留された米国制裁対象となっているベネズエラ航空機に対してウルグアイ政府は領空通過の許可を取り消していたと述べた。同航空機はアルゼンチンを出発し、ウルグアイに向かっている途中でウルグアイ政府による領空通過許可の取り消しを受け、アルゼンチンに引き返したものであった。同大臣は「当該航空機の当地着陸を正当化する人道的理由が無いのであれば引き返すよう命じた。」と発言した。

(9) 亜ウルグアイ外相会談

16日、ブスティージョ外相はアルゼンチンを訪問し、カフィエロ亜外相との外相会談を行った。同会談で、両外相は新たな世界情勢に焦点を当てた経済及び国際貿易評価、並びに主に食料とエネルギー価格のラテンアメリカへの影響について意見交換を行った。

(10) ルジュューヌ・ンベラ・ンベラ・カメルーン外相の当地訪問

17日、アチェ外務次官は、ウルグアイを訪問中であったルジュューヌ・ンベラ・ンベラ・カメルーン外相の訪問を受け入れた。ワーキング会合が行われ、共通の関心分野における協力プロジェクトの今後の進展を可能にさせる協力枠組み協定に署名を行った。

3 経済

(1) IMF ミッションによる経済評価

グスタボ・アドラーIMF 調査部副部長(西半球担当)が、5月30日から6月3日にかけてウルグアイを訪問。ウルグアイ政府関係者とともに、パンデミックからの回復の観点を含んだ近年の経済成

長、ウクライナ紛争の影響及びウルグアイの政策優先事項について議論を行った。

(2) 伯ウルグアイ貿易協定の締結

20日、ウルグアイ及びブラジルは両国の自由貿易地区(フリーゾーン)で生産された製品のゼロ関税輸出に関する協定及びマテ茶の輸入簡易化に関する文書に署名を行った。今次協定の締結により、ウルグアイ及びブラジルのすべてのフリーゾーンで生産され、経済補完協定(ACE)18号(注:メルコスール加盟4か国の対外共通関税等を定めたもの。砂糖、自動車及び自動車部品は対象外。)に含まれるすべての製品の対外共通関税を全面的に撤廃する。また、マテ茶のブラジルからウルグアイへの輸出障壁となる非関税障壁の賦課を回避するため、衛生事項に関する新規の技術基準の確立が(今回の取決めに)含まれる。

(3) フィッチ・レーティングス社による経済評価

29日、フィッチ・レーティングス社は、ウルグアイの債務格付を投資適格の下限である「BBB-」、今後の見通しを「安定」と発表。同社は今次格付評価「BBB-」について、一人あたりのGDPが比較的高い点、安定したガバナンス指標及び成功を収めたパンデミック対策や堅実な外部金融に証明される制度の強さによって同評価結果が出された旨報告した。

4 要人往来

(1) 往訪

- ・6月6日～9日:ペニャ環境大臣の米国訪問(米州メタンガス削減リーダーズ会議出席。)
- ・6月6日～13日:ミエレス労働社会保障大臣のスイス訪問(第110回ILO総会出席。)
- ・6月7日～11日:ブスティージョ外相の米国訪問(第9回OAS首脳会議出席。)
- ・6月7日～12日:サリーナス厚生大臣の米国訪問(第9回OAS首脳会議出席。)
- ・6月14日～16日:レマ社会開発大臣のパラグアイ訪問(第38回メルコスール社会開発大臣会議)。
- ・6月16日:ブスティージョ外相のアルゼンチン訪問(カフィエロ亜外相との外相会談。)
- ・6月21日～26日:サリーナス厚生大臣の米国訪問(第170回米州衛生機関執行委員会セッション出席。)
- ・6月23日～24日:ヘベル内務大臣のブラジル訪問(第1回南米対国際組織犯罪大臣会議出席。)
- ・6月23日～28日:ペニャ環境大臣のポルトガル訪問(第2回持続可能な開発目標(SDG)14実施支援国連会議出席。)
- ・6月18日～7月4日:ダ・シルベイラ教育文化大臣のフランス訪問(国連教育の変革プレサミット出席。)
- ・6月30日～7月4日:ラカジェ・ポウ大統領及びブスティージョ外相のコロンビア訪問

(2) 来訪

- ・6月17日:ルジュューヌ・ンベラ・ンベラ・カメルーン外相の訪問